



加 速 度 計 測 解 析 シ ス テ ム

山形県工業技術センター置賜試験場では、（公財）JKAより競輪の補助を受けて、本装置を導入しました。

1. 広い衝撃波の解析が可能

衝撃加速度が0.1から100,000G、作用時間が0.01から99.99ミリ秒までの衝撃波を解析可能です。また、衝撃波の形状も、正弦半波、台形波、のこぎり波、方形波、三角波の5種類について対応可能*です。

*落下衝撃試験装置では正弦半波と台形波のみ試験可能です。
のこぎり波、方形波、三角波は解析のみ可能です。

2. 新DBC試験が実施可能

1回の試験で複数の損傷境界曲線を作成可能な、新DBC*試験を実施可能です。下記の多チャンネルであることと合わせて、製品の信頼性試験をより詳細、かつ効率的に実施することができます。

*損傷境界曲線, Damage Boundary Curve:DBC

3. 多チャンネルでの加速度解析が可能

加速度ピックアップを接続するチャンネルを12個備え、多数の加速度ピックアップを使用した解析が可能です。これにより、複雑な形状や、多数の構成部品を持つ製品の信頼性試験が実施可能です。



装置外観



装置全体図

— システム構成概要 —

[型 式] 神栄テクノロジー（株）製 SM-500

[主な仕様] 処理可能波形： 正弦半波、台形波、のこぎり波、方形波、三角波

計測チャンネル数： 12チャンネル

加速度測定範囲： 0.1～100,000G

作用時間測定範囲： 0.01～99.99ms

速度変化測定範囲： 0.01～99.99m/s

測定誤差： ±1%以下



お問い合わせ先

山形県工業技術センター置賜試験場 機電技術部

〒990-0003 米沢窪田町窪田2736-6 / TEL 0238-37-2424 / FAX 023-37-2426